

司研企二第599号

平成28年6月20日

平成27年度（第69期）

司法修習生各位

実務修習地 東京，立川，横浜，  
さいたま，千葉，大阪，京都，神戸，  
奈良，大津，和歌山

司法研修所事務局長 染谷武宣

#### 集合修習の開始等について（通知）

当研修所における集合修習が，下記1及び2のとおり実施されます。

なお，実務修習結果簿の提出及び即日起案時に使用する六法については，下記3及び4のとおりですので，注意してください。

#### 記

##### 1 集合修習日程

集合修習は，8月16日（火）から9月28日（水）までカリキュラムが行われる。カリキュラムの詳細については，別紙第1「A班 集合修習日程予定表」のとおりである。

なお，試験は，11月18日（金）から同月25日（金）までに実施される予定である。試験終了日の翌日から12月14日（水）の修習終了日までの期間は，自由研究日である。

##### 2 集合修習開始日

8月16日（火）

集合修習開始日には，講義開始前にオリエンテーション（司法研修所長講話等）を行うので，西館1階ロビーで出席簿への押印を行った上で，各クラスの教室に入室し，午前8時50分までに着席する（時間厳守）。

なお、集合修習開始日1限目「民裁講義」の開始時刻は、17日（水）以降と同様午前9時50分である。

おって、集合修習開始日に持参する教材等は、別紙第2のとおりである。

### 3 実務修習結果簿の提出について

実務修習結果簿は、選択型実務修習修習計画書の写しを最終ページに直接とじ込んだ上で（裏表紙の内側に糊付けしない。）、8月16日（火）に各組のクラス連絡委員が回収（回収方法については、別途指示する。）し、企画第二課調査係に提出する。

なお、実務修習地の指導担当官検印欄に検印漏れがないように注意する。

### 4 即日起案時に使用する六法について

導入修習時の即日起案は、判例付き六法の使用を認めたが、集合修習時の即日起案は、特段の指示がない限り、判例付き六法の使用を禁じるので注意する。

平成27年度(第69期)司法修習生

## A班 集合修習日程予定表

(注) 本表は予定であって、確定日程ではない。  
確定日程は、毎週最終登庁日に配布する。

月/日	曜	1限目 (9:50~11:40)	2限目 (12:40~14:30)	3限目 (14:45~16:35)	月/日	曜	1限目 (9:50~11:40)	2限目 (12:40~14:30)	3限目 (14:45~16:35)															
29	月	民裁起案1講評			26	月	刑弁起案2講評		刑裁起案2講評															
30	火	全共特別講義	刑弁起案1講評		27	火	刑裁起案2講評	検察起案2講評																
31	水	民共演習1(口頭弁論期日)		刑共演習(証拠開示等)	28	水	民共演習4 (判決・講評)	民弁起案2講評																
9/1	木	刑共演習(争点整理等)			 <b>選択型実務修習</b> 																			
2	金	刑共演習(尋問)																						
5	月	民裁起案2(即日)																						
6	火	刑共問題研究 (情状・量刑)	刑裁起案1講評																					
7	水	刑弁問題研究	民共演習2(弁論準備手続期日)																					
8	木	民共問題研究(和解)	検察起案1講評		11/18	金	考試																	
9	金	刑弁起案2(即日)			12	月	検察問題研究 (被害者保護)	民弁起案1講評		21	月	考試												
8/16	火	民裁講義		民弁講義(和解条項)	13	火	刑裁起案2(即日)			22	火	考試												
17	水	民弁問題研究1			14	水	民弁起案2(即日)			23	水	勤労感謝の日												
18	木	刑弁起案1(即日)			15	木	検察起案2(即日)			24	木	考試												
19	金	民裁起案1(即日)			16	金	民共演習3準備	民共演習(争点整理)		25	金	考試												
22	月	刑裁起案1(即日)			19	月	敬老の日			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民裁・・・民事裁判</td> <td>民共・・・民事共通</td> </tr> <tr> <td>刑裁・・・刑事裁判</td> <td>刑共・・・刑事共通</td> </tr> <tr> <td>民弁・・・民事弁護</td> <td>全共・・・全科共通</td> </tr> <tr> <td>刑弁・・・刑事弁護</td> <td>弁共・・・弁護共通</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(即日)・・・即日起案</td> </tr> </tbody> </table>			凡例		民裁・・・民事裁判	民共・・・民事共通	刑裁・・・刑事裁判	刑共・・・刑事共通	民弁・・・民事弁護	全共・・・全科共通	刑弁・・・刑事弁護	弁共・・・弁護共通		(即日)・・・即日起案
凡例																								
民裁・・・民事裁判	民共・・・民事共通																							
刑裁・・・刑事裁判	刑共・・・刑事共通																							
民弁・・・民事弁護	全共・・・全科共通																							
刑弁・・・刑事弁護	弁共・・・弁護共通																							
	(即日)・・・即日起案																							
23	火	刑裁問題研究	民弁演習(法律相談)		20	火	民裁演習(争点整理)	弁共演習 (弁護士倫理)																
24	水	検察起案1(即日)			21	水	民裁起案2講評																	
25	木	民共演習1準備		民弁問題研究2	22	木	秋分の日																	
26	金	民弁起案1(即日)			23	金	民共演習3(交互尋問)																	

(別紙第2)

持参教材等

1 民裁講義

- (1) 新問題研究要件事実
- (2) 事実摘示記載例集（「10訂民事判決起案の手引」別冊）
- (3) 事例で考える民事事実認定

2 民弁講義（和解条項）

- (1) 5訂民事弁護における立証活動（追補プリントを含む。）
- (2) 7訂民事弁護の手引
- (3) 民事弁護教材 改訂 民事保全（補正版）
- (4) 民事弁護教材 改訂 民事執行（補正版）
- (5) 民事弁護の基礎知識（増補版）
- (6) 民事弁護実務の基礎～訴訟上の和解～